

3. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(12月)

建設業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

前回9月調査の「最近」は-39、今回調査の「最近」は-42、「先行き」は-38となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると3ポイント悪化しており、先行きは4ポイント改善となる見込み。

不動産業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

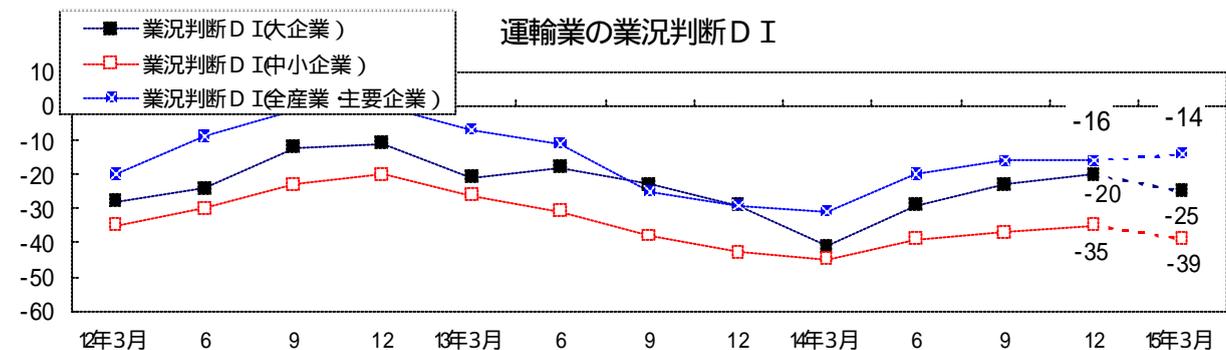
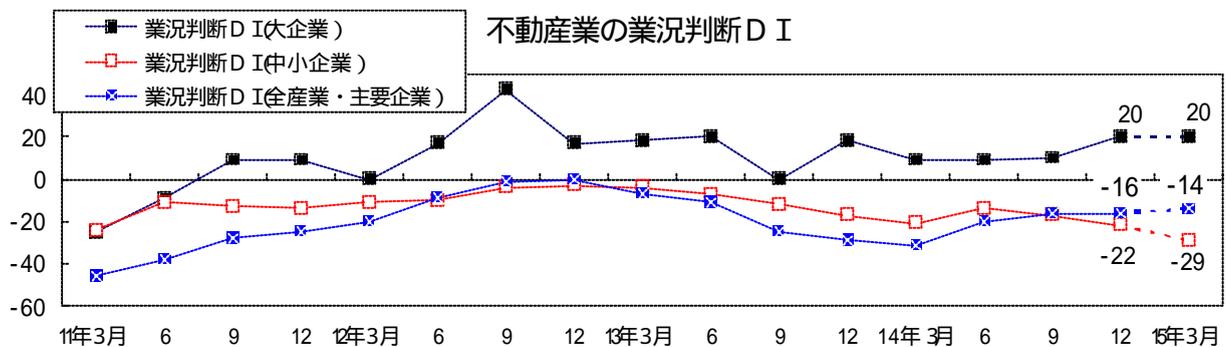
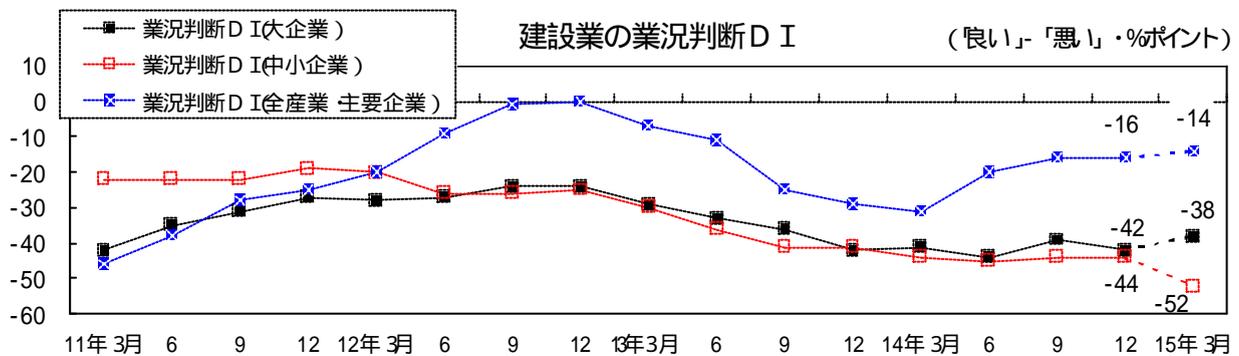
前回9月調査の「最近」は10、今回調査の「最近」は20、「先行き」は20となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると10ポイント改善しており、先行きは横ばいとなる見込み。

運輸業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

前回9月調査の「最近」は-23、今回調査の「最近」は-20、「先行き」は-25となった。

前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると3ポイント改善しており、先行きは5ポイント悪化となる見込み。



資料:日本銀行「企業短期経済観測調査」(注)点線は3カ月先までの予測値

(2) 雇用情勢

就業者数等 (10月調査)

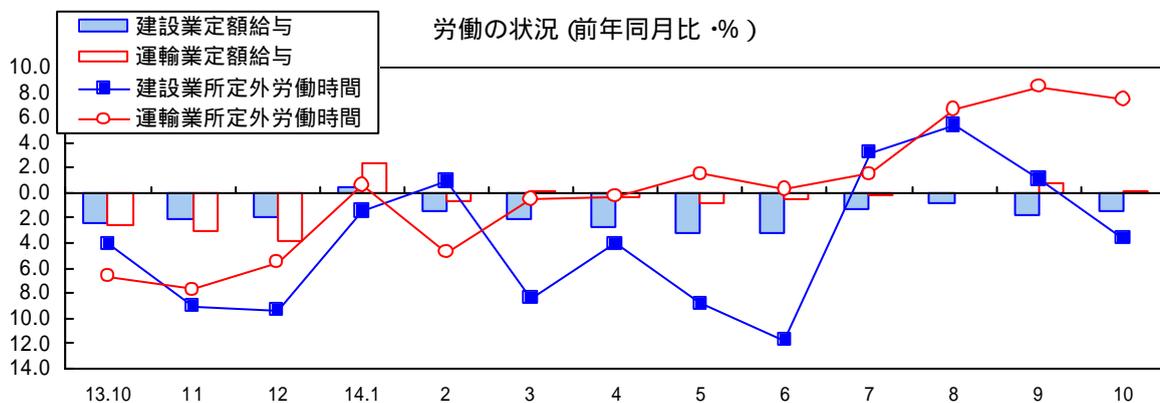
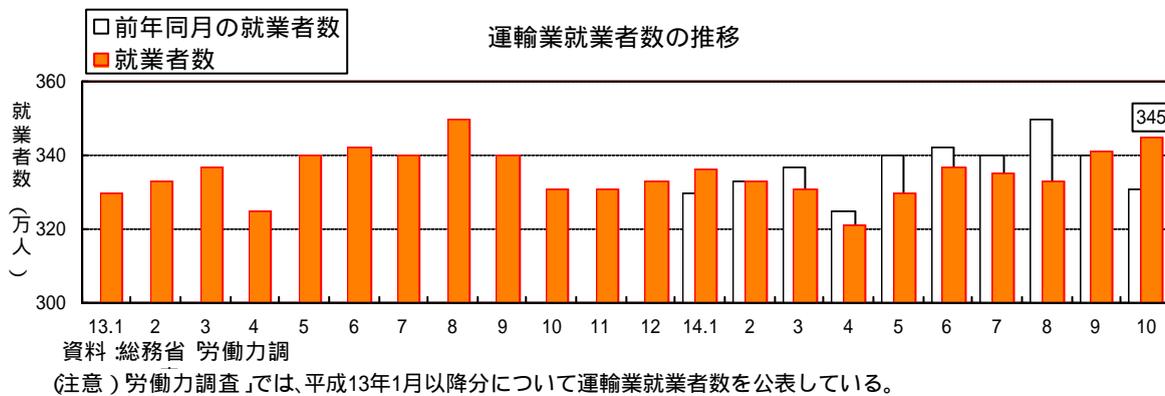
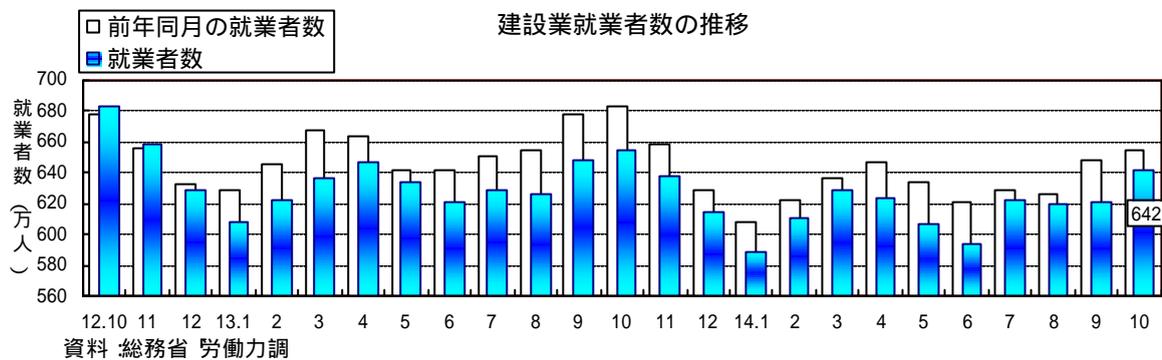
建設業就業者数は642万人で、前年同月比2.0%減少(2ヶ月連続)した。雇用者数は525万人で同1.3%減少(2ヶ月連続)し、うち常雇は同1.9%減少(2ヶ月連続)、臨時雇は同16.7%増加(6ヶ月連続)、日雇は同7.4%減少(2ヶ月連続)となった。

運輸業就業者数は345万人で同4.2%増加(2ヶ月連続)、雇用者数は322万人で同2.9%増加(9ヶ月ぶり)した。

労働の状況 (10月調査 確報)

建設業(常用労働者5人以上の事業所)の賃金指数(きまって支給する給与)は前年同月比1.4%減少、総実労働時間指数は同0.2%減少、所定外労働時間は同3.6%減少した。

運輸業(常用労働者5人以上の事業所)の賃金指数(きまって支給する給与)は前年同月比0.2%増加、総実労働時間指数は同1.1%増加、所定外労働時間は同7.4%増加した。



(3) 倒産

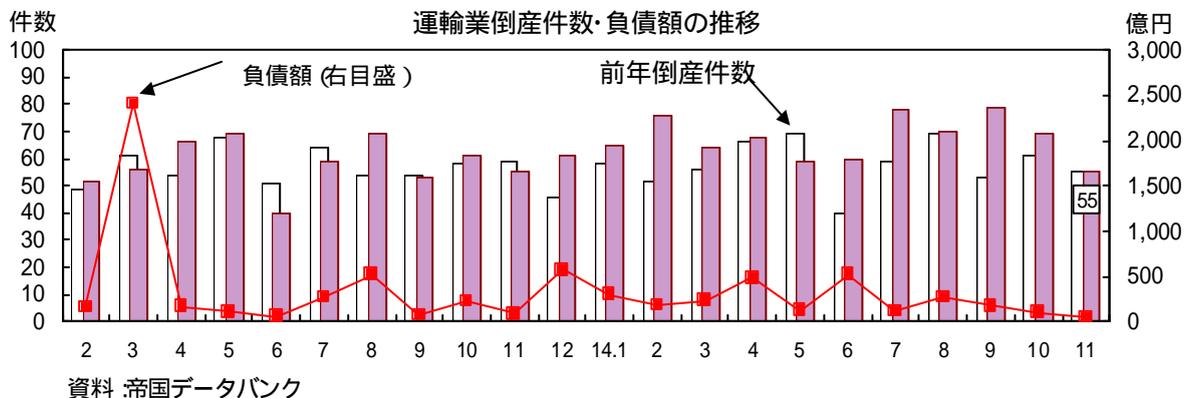
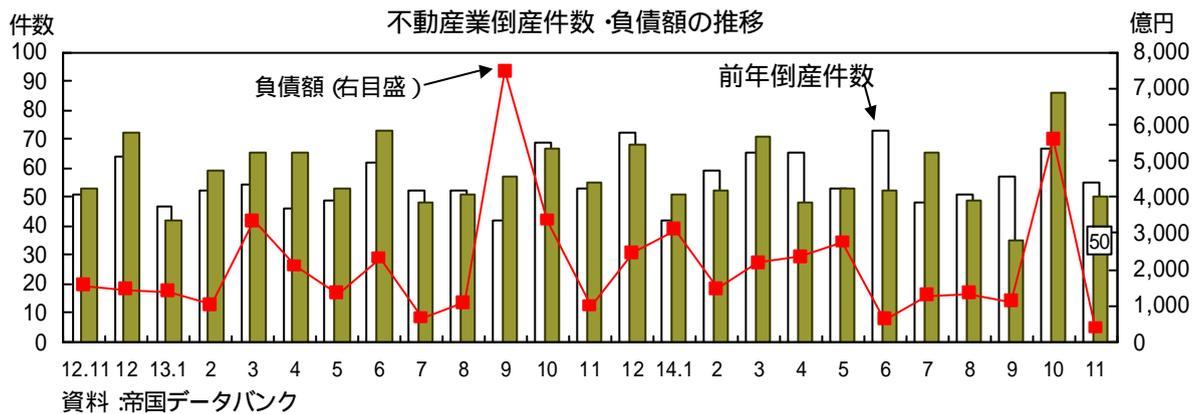
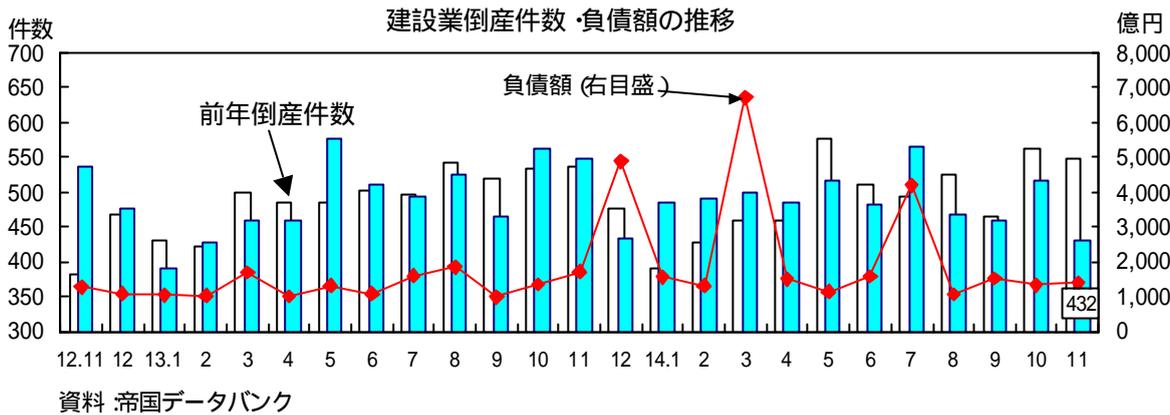
11月

全産業の倒産件数は1,433件で、前年同月比22.6%減と4ヶ月連続の減少となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は432件で、前年同月比21.2%減と4ヶ月連続の減少となった。

不動産業の倒産件数は50件で、同9.1%減と2ヶ月ぶりの減少となった。

運輸業の倒産件数は55件で、前年同月と導水準となった。



(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数(10月確報、季調済)は74.0(平成7年=100)で前月比0.8%下落(2ヶ月ぶり)、出荷指数は75.3で同2.2%下落(2ヶ月ぶり)、在庫指数は78.7で同0.1%上昇(8ヶ月ぶり)した。

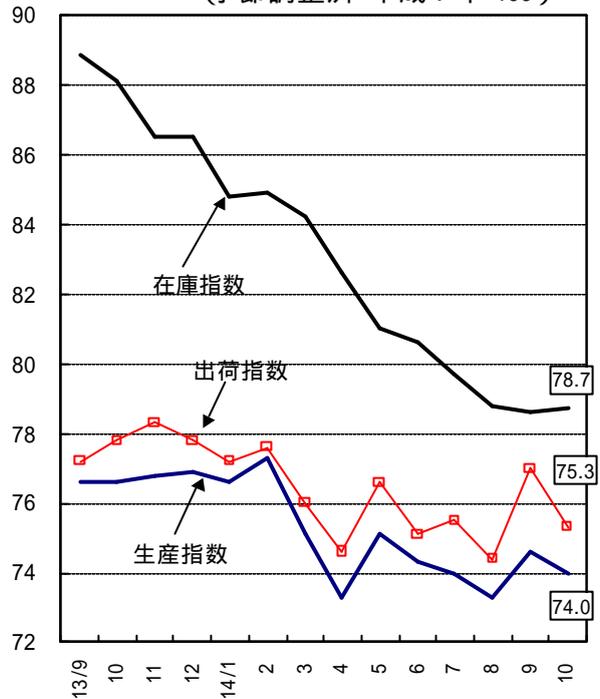
建設用材料(中間財)の総合卸売物価指数(10月)は97.4(平成7年=100)で、前月より0.1%上昇した。

建設財の生産・出荷・在庫
(季調済前月比、%、10月)

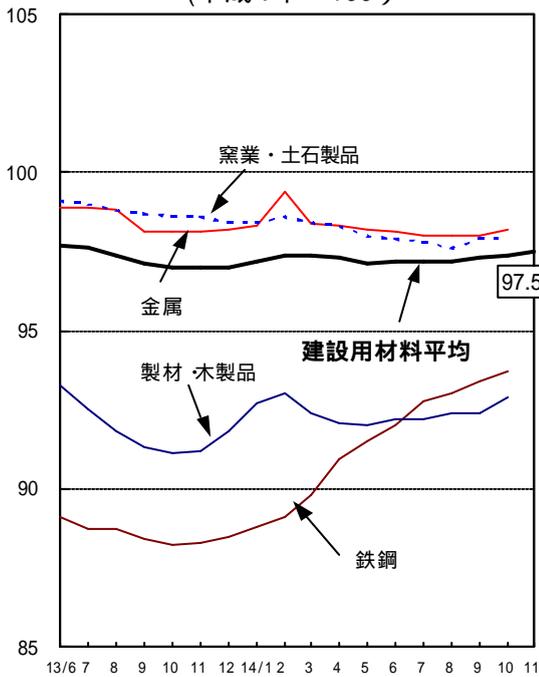
		生産	出荷	在庫
建設財		0.8	2.2	0.1
10月確報値	鉄鋼	5.4	3.0	3.0
	金属製品	2.3	6.3	3.4
	窯業・土石製品	0.0	2.1	1.4
	木材・木製品	0.3	0.5	1.2
建設財(前年同月比)		3.3	3.2	10.7
(参考)鉱工業		0.2	0.9	0.6
(参考)鉱工業(前年同月比)		5.4	7.4	8.8

資料：経済産業省「生産・出荷・在庫指数」

建設財の生産・出荷・在庫指数
(季節調整済・平成7年=100)

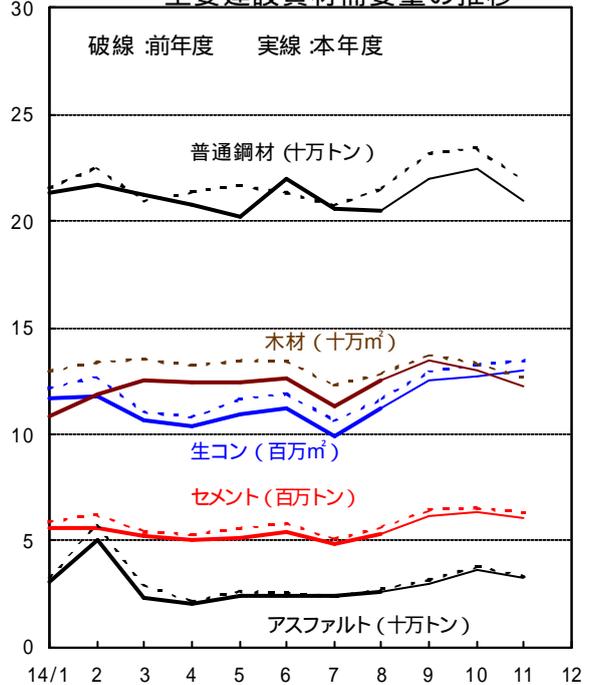


建設用材料卸売物価指数
(平成7年=100)



資料：日本銀行

主要建設資材需要量の推移

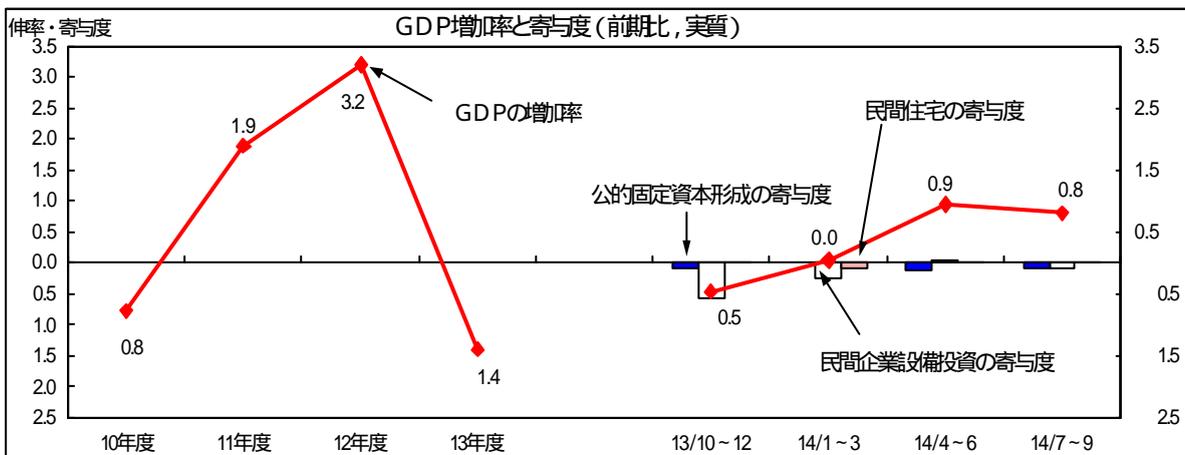


注)直近4ヶ月間の細線は予測値
資料 国土交通省労働資材対策室

(5) 一般経済指標の概況

	全実 国 質 消 全 費 世 支 帯出	全売 国 額 百 貨 既 存 店 販	機 船 船 機 械 電 力 を 除 く 民 需 注	資 本 除 財 輸 出 送 荷 機 械 数	鉱生 産 工 指 業 数	輸 通 関 額 ベ ー ス 出	輸 通 関 額 ベ ー ス 入	国物 内 価 卸 指 売 数	有 効 求 人 倍 率	完 全 失 業 率	企 業 全 倒 産 業 件 数	マ ネ ー サ ブ ラ イ	日 経 平 均 2 2 5 種	東 交 名 通 量 高 速 大 型 特 大 車 均
	前年 同期比	前年 同期比	(季) 前 期 比	(季) 前 期 比	(季) 前 期 比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	(季, 倍)	(季, %)	前年 同期比	前年 同期比	期 末 値 (円)	前年 同期比
平成10年度	1.3	3.3	18.6	12.6	7.1	3.8	11.4	2.2	0.50	4.3	0.3	3.7	15,837	6.8
11	1.2	2.3	0.6	0.1	3.3	1.8	3.0	0.9	0.49	4.7	3.5	3.6	20,337	1.2
12	0.5	2.7	16.6	9.4	4.0	7.2	16.5	0.0	0.62	4.7	12.1	2.1	13,000	1.5
13	2.1	0.3	12.6	12.7	10.2	6.6	2.3	1.1	0.56	5.2	5.9	3.1	11,025	4.7
13年10~12月	2.1	0.5	7.5	3.8	3.4	10.9	8.7	1.4	0.52	5.1	6.5	3.2	10,543	4.7
14年1~3月	1.3	0.8	7.4	0.5	0.7	3.0	8.5	1.4	0.51	5.4	13.6	3.6	11,025	8.3
4~6月	1.1	1.5	7.1	1.5	3.8	5.7	4.4	1.1	0.53	5.5	3.4	3.5	10,622	3.4
7~9月	2.2	2.4	1.7	1.8	2.2	7.4	2.1	1.0	0.54	5.3	3.0	3.3	9,383	1.5
平成13年9月	3.7	2.8	8.1	3.6	2.3	11.0	7.9	1.1	0.57	5.3	4.4	3.3	9,775	7.0
10	0.4	2.3	8.5	2.0	0.3	9.0	4.6	1.3	0.54	5.3	11.7	3.0	10,366	0.4
11	0.9	2.5	9.9	0.5	2.5	9.2	7.9	1.4	0.52	5.4	10.0	3.2	10,697	6.1
12	6.6	1.3	1.8	2.7	0.8	14.5	13.4	1.5	0.51	5.5	2.9	3.4	10,543	6.7
平成14年1月	0.8	0.3	10.9	2.4	0.1	1.8	9.3	1.5	0.51	5.3	19.3	3.5	9,998	8.6
2	3.8	4.0	6.3	2.7	1.2	4.2	2.6	1.4	0.50	5.3	18.2	3.6	10,588	7.6
3	1.0	0.7	6.2	5.3	0.8	3.0	12.6	1.3	0.51	5.2	5.0	3.7	11,025	8.6
4	1.9	1.9	8.4	9.0	0.2	1.7	2.8	1.2	0.52	5.2	0.6	3.6	11,493	4.5
5	1.6	2.0	0.2	12.3	4.1	8.8	5.5	1.2	0.53	5.4	1.6	3.5	11,764	1.2
6	2.8	0.6	2.9	7.0	0.2	7.1	5.1	1.0	0.53	5.4	9.5	3.4	10,622	4.4
7	1.3	5.6	1.9	1.1	0.1	8.9	0.8	1.2	0.54	5.4	15.8	3.3	9,878	1.0
8	0.1	0.5	13.6	8.7	1.4	6.2	2.6	0.9	0.54	5.4	3.1	3.4	9,619	1.8
9	5.4	0.9	12.7	4.9	0.1	6.9	8.9	0.9	0.55	5.4	3.4	3.2	9,383	1.7
10	0.0P	3.5	4.1	1.5	0.2	14.1P	4.0	0.5	0.56	5.5	10.7	3.3	8,640	0.6
11	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	22.6P	3.2	9,216	-

Pは推報値。マネーサプライの10年度以前は11年度以降と連続しない。



資料 内閣府「四半期別国民所得速報」

注1) 項目別の寄与度とは、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成の他に、民間最終消費支出、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的在庫品増加、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増加率となる。
 注2) 平成11年度以前のGDP増加率は、すでに確報値として公表している数値。平成12年度のGDP増加率は、参考系列の年度合計値と比較して算出。